

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

県営大洞地区

区画整理・農用地改良保全

(中山間地域農業農村総合整備) 事業

(変更)

新 潟 県

目 次

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	2
第3章	基本計画	7
第4章	工事又は管理の要領	9
第5章	換地計画の要領	10
第6章	費用の概算	14
第7章	効用	15
第8章	他の事業との関係	16
第9章	計画概要図	16

第1章 目 的

本地区は、糸魚川市の北東部に位置し、普通河川・濁澄川の上流部に位置する耕地である。

地区内の耕地は、ほとんどが10a未満の狭小なほ場であり、一部は田越しでかんがいを行っている。小用水路のほとんどが用排水兼用の水路であることから、土砂の排出等の維持管理に苦慮し、高齢化した耕作者の負担となっている。

また、水源となる溪流水の集水面積が小さく、慢性的な水不足に悩まされ、自力で貯水田を設置するなど、用水の確保や管理に苦慮しており、水不足が深刻な問題となっている。

地区内農道は、急勾配で幅員が2m程度で大型機械が通行できず、営農に支障をきたしている。

このような状況であることから、本地区も高齢化とともに離農農家が増加し、条件不利な農地として耕作放棄地となる恐れがある。

そこで、地区内で将来の農業経営を検討し、本地域の実情に即した、土地利用型農業の確立及び効率的な営農、維持管理労力の解消・軽減を図り、担い手農家の経営規模の拡大により地域農業の活性化を目指すこととした。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域及び地籍

1. 地域

事業名	地域
区画整理・農用地改良保全	新潟県糸魚川市大字大洞 地内

2. 地積

事業名	現況地目 市町村名	田	畑	原野	山林	その他	計	備考 (ha)
区画整理	糸魚川市	12.8 12.8	0.2 0.2	— —	2.0 2.0	2.3 2.3	17.3 17.3	
農用地改良保全	〃	1.9	—	—	—	—	1.9	
計		14.7 14.7	0.2 0.2	— —	2.0 2.0	2.3 2.3	19.2 19.2	

第2節 地形

事業名	地 目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高		備 考
	傾 斜 区 分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高 (m)	最低 (m)	
										8°	10°	8°						
										～ 10°	～ 15°	～ 15°						
区画整理	面積 (ha)	—	—	—	—	12.8	12.8	—	—	—	0.2	—	—	—	0.2	225	117	
	比率 (%)	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0			
農用地 改良保全	面積 (ha)	—	—	—	—	1.9	1.9	—	—	—	—	—	—	—	—	111	81	
	比率 (%)	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—			

第3節 地質及び土壌

土壌は、D30（強グライ土壌－強粘土還元型）となっている。

第4節 気象

1. 一般気象

位置 東経 138° 01' 07" 北緯 37° 04' 09" 標高 55m

観測所名	能生観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	S51年～H31年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (℃)		20.9 ℃	7.1 ℃	12.9 ℃	
降水量	平均 (mm)	1,030 mm	2,073 mm	3,103 mm	
	基準年 (mm)	906 mm	2,127 mm	3,033 mm	H1年
降水日数	平均 (日)	65 日	137 日	202 日	
	基準年 (日)	74 日	136 日	210 日	H1年
根 雪 期 間		11月24日 ～ 3月30日		127 日間	新潟地方气象台 S56～H22
無 霜 期 間		3月30日 ～ 11月25日		241 日間	新潟地方气象台 S56～H22
最 多 風 向		南東 (3～12月)	最大風速	14.3 m/s (H26. 12. 17) 西北西)	

2. 特殊気象

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
能生観測所																
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
S51年～H31年																
最大日雨量 (mm)	253	H31. 10. 12	1/500 以上	218	H29. 7. 1	1/100 以上	192	H25. 9. 16	1/40 以上	192	S56. 8. 23	1/40 以上	190	S57. 9. 12	1/40 以上	
最大連続雨量 (mm)	555	H13	1/20 以上	550	S59	1/15 以上	504	S61	1/10 以上	492	H11	1/10 以上	466	S56	1/7 以上	
最大連続干天 日数(日)	46	H6	1/100 以上	42	S60	1/50 以上	35	S58	1/20 以上	30	H12	1/10 以上	26	H19	1/5 以上	

第5節 水利状況及び営農状況

1. 水利状況

用排水は、用排兼用であり、舗装箇所の一部において老朽化が進み、維持管理に苦慮している。
また、地区全域で暗渠排水が施工されておらず、いずれの耕地も排水不良となっている。

2. 営農状況

地区内の耕地は、10aにも満たない未整備地であり、さらに、農道も2m程度と狭幅で、
作業機械の通行も困難な状況で、非常に作業効率が悪く、耕作に支障をきたしている。

第6節 地域環境の概況

1. 植物・動物等生態系の概況

令和元年9月10日に行われた『生きもの調査』から地区内及び周辺地域においては、以下が確認された。

魚類【ドジョウ、メダカ】、昆虫類【ミズカマキリ、ニホンカワトンボ（ヤゴ）】、両生類【アカハライモリ、クロサンショウウオ、ツチガエル】、貝類【マルタニシ、カワニナ】

2. その他、地域環境の概況

糸魚川市は、新潟県の最西端に位置し、海・山・川など豊かな自然環境を有しており、そこに生息・生育する生き物も身近な種から貴重な種まで多種多様である。農村環境においては、中山間地域の棚田景観をはじめ、我が国の原風景を思わせる良好な環境が広がっている。

また、糸魚川市農村環境計画では、目指すべき将来像及び基本方針として以下の事項を掲げている。また市域内の農業振興地域を、「田園環境創出エリア」、「里山環境創出エリア」、「水辺環境創出エリア」に区分しており、本地区は「里山環境創出エリア」に設定されている。

第3章 基本計画

第1節 要旨

本計画は、区画整理（10.7ha）、暗渠排水（1.9ha）を施工し、耕地の汎用化を図り労働生産性の向上を目指す。よって、農地の集積を促進し地域の担い手農家の育成を目指して事業を実施するものである。

第2節 一般計画

事業名 土地利用 区分 事業目的	区 画 整 理						農用地改良保全						計 (ha)	備考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	道 水 路 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	道 水 路 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
区 画 整 理	9.9 9.9	0.8 0.8	—	4.9 4.9	1.7 1.7	17.3 17.3	—	—	—	—	—	—	17.3 17.3	
暗渠排水	—	—	—	—	—	—	1.9	—	—	—	—	1.9	1.9	
計	9.9 9.9	0.8 0.8	—	4.9 4.9	1.7 1.7	17.3 17.3	1.9	—	—	—	—	1.9	19.2 19.2	

第3節 営農計画の概要

- a. 経営方式： 水稻転作複合 水稻 + 野菜
- b. 経営組織： 農地の集団化を図り、大型機械の共同利用を進めると共に土地利用権の集積に努め、農業経営の安定を図る。
- c. 作業体系： (水稻) 耕起整地 → 基 肥 → 植 付 → 除草防除 → 収穫調製

第4節 土地利用区分

事業名	土地利用 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区画整理	現 況	12.8 12.8	0.2 0.2	— —	— —	13.0 13.0	— —	2.0 2.0	2.3 2.3	17.3 17.3	
	計 画	9.9 9.9	0.8 0.8	— —	— —	10.7 10.7	— —	(341 m ²) —	6.6 6.6	17.3 17.3	
農用地 改良保全	現 況	1.9	—	—	—	1.9	—	—	—	1.9	
	計 画	1.9	—	—	—	1.9	—	—	—	1.9	
計	現 況	14.7 14.7	0.2 0.2	— —	— —	14.9 14.9	— —	2.0 2.0	2.3 2.3	19.2 19.2	
	計 画	11.8 11.8	0.8 0.8	— —	— —	12.6 12.6	— —	(341 m ²) —	6.6 6.6	19.2 19.2	

第5節 環境配慮計画

本地区は、糸魚川市農村環境計画より【里山環境創出エリア】に設定されており、事業実施により想定される影響を考慮し以下の配慮計画とする。

◇計画排水路の一部区間に小さいワンド工を整備し、動植物の生息・繁殖空間を確保する。

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

事業名	工事内容	事業量	備考
区画整理	整地工	10.7 ha	
	道路工	3.0 km	幅員B=2.5 (3.0) m、Co・砂利舗装
	水路工	2.9 km	塩ビ管φ75～200mm
	排水路工	3.0 km	HF300×300～600×600型
	暗渠排水工	10.7 ha	吸水渠間隔7.5m
	客土工	－ 式	
	附帯工	－ 式	
農用地改良保全	暗渠排水工	1.9 ha	吸水渠間隔7.5m

第2節 管理の要領

1. 管理者

糸魚川市

2. 管理すべき施設の種類の等

事業名	管理施設
区画整理	農道、水路

3. 管理方法に関する基本的事項

管理者が適正な管理を行うものとする。

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本事業の趣旨を踏まえ、関係農家の農用地の集団化を進め、農業経営の合理化及び近代化を図り、地域農業の発展に資するよう換地計画を樹立するとともに、担い手農家への農地集積の必要性の啓発に努め、作業委託等の農地流動化や利用権設定等による農地の集積を促進する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全換地区	糸魚川市大字大洞	17.3 17.3

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積基準

換地区名	地積の基準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、一次整備（団体営ほ場整備）済の区域については土地改良事業計画確定の日の登記地積とし、一次整備（団体営ほ場整備）の行われていない区域は、航空写真による1/1000の地形図にて図上求積した地積とする。ただし、上記の日から3か月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接土地所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。

2. 用途予定地積

用途 前 後	非 農 用 地 区 域 外 に 換 地 す る 土 地											非 農 用 地 区 域 に 換 地 す る 土 地										機能交換に係る土地				一 般 国 公 有 地	総 合 計	
	田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域に含める 土 地 〔令第1条の9 （ ）書〕			計	本事業によって生 ずる土地改良施設 用地			合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地					合 計	国	県	市 町 村 他			合 計
					土地 改良 施設	そ の 他	小 計		改 良 区 他	そ の 他	計		宅 地 他	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計							
従 前 の 地 土	12.8	0.2	2.0	0.4	-	-	15.4	-	-	-	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	1.9	17.3	
	12.8	0.2	2.0	0.4	-	-	15.4	-	-	-	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	1.9	17.3	
換 地	9.9	0.8	-	〃(341m2)	-	-	10.7	-	1.7	1.7	12.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	4.9	17.3	
	9.9	0.8	-	-	-	-	10.7	-	1.7	1.7	12.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	4.9	17.3	

3. 農用地集団化の方針

換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全換地区	1. 営農グループ別集団化 担い手が耕作する農用地は、できるだけ集団化を図るものとし、この場合その団地位置の決定に当たってはその団地位置から他の位置に換地を定められることとなる従前の土地の権利者の承諾を得るようにする。	各人の従前の土地条件（区画形状・日照等）を基準としながら、意向調査等の結果を踏まえて、営農グループ別集団化との調整を図りながら、地域の営農形態が向上するよう地区全体の合理的な土地利用計画を策定し、これに基づき換地の位置を選定して集団化する。	1戸当たりの団地数は、概ね1～2団地を目標とする。	固定畦畔とする。

4. 非農用地の換地方法

該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備 考
全換地区	令和6年度～9年度 令和6年度 令和7年度	令和10年度 令和9年度	令和10年度 令和9年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区内の区画形状の変更に関わる工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分ができるものとする。

第6章 費用の概算

単位：千円

事業名等 区 分	区画整理	農用地改良保全	—	合 計	備 考
主 要 工 事	670,100 567,000	10,500 10,500	—	680,600 577,500	11,375 内工事雑費 9,625 21,325 内地方事務費 17,875
附 帯 工 事	—	—	—	—	

単位：千円

事業名等	区 分	工 事 費				工 事 雑 費				地 方 事 務 費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
区画整理	負 担 率	55.0%	32.0%	11.0%	2.0%	—	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—
	負担金額	350,845 297,000	204,128 172,800	70,169 59,400	12,758 10,800	—	11,200 9,450	—	—	—	21,000 17,550	—	—
農用地 改良保全	負 担 率	55.0%	32.0%	11.0%	2.0%	—	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—
	負担金額	5,500	3,200	1,100	200	—	175	—	—	—	325	—	—
合 計	負 担 率	55.0%	32.0%	11.0%	2.0%	—	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—
	負担金額	356,345 302,500	207,328 176,000	71,269 60,500	12,958 11,000	—	11,375 9,625	—	—	—	21,325 17,875	—	—

第7章 効 用

事業名	区 分	項 目	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備 考 (千円)
区 画 整 理	作 物 生 産 効 果		5,646 5,646	1,146 1,146	$543,158/468,036=1.16$ 総費用総便益比 = $543,158/468,036=1.16$
	営 農 経 費 節 減 効 果		21,209 21,209	21,592 21,592	$746/22,675 \times 100=3.3\%$ 増加所得償還率 = $746/22,675 \times 100=3.3\%$
	維 持 管 理 費 節 減 効 果		△72 △72	△63 △63	
	耕 作 放 棄 防 止 効 果		- -	- -	
	農 業 労 働 環 境 改 善 効 果		1,584 1,584	- -	
	地 籍 確 定 効 果		157 157	- -	
	景 観 ・ 環 境 保 全 効 果		403 403	- -	
	国産農産物安定供給効果		704 704	- -	
	計		29,631 29,631	22,675 22,675	
農 用 地 改 良 保 全	作 物 生 産 効 果		71	79	総費用総便益比 = $10,033/8,668=1.15$
	営 農 経 費 節 減 効 果		558	558	増加所得償還率 = $14/637 \times 100=2.2\%$
	維 持 管 理 費 節 減 効 果		0	0	
	国産農産物安定供給効果		10	-	
	計		639	637	
全 体	作 物 生 産 効 果		5,717 5,717	1,225 1,225	$553,191/476,704=1.16$ 総費用総便益比 = $553,191/476,704=1.16$
	営 農 経 費 節 減 効 果		21,767 21,767	22,150 22,150	$760/23,312 \times 100=3.3\%$ 増加所得償還率 = $760/23,312 \times 100=3.3\%$

維持管理費節減効果	$\triangle 72$ $\triangle 72$	$\triangle 63$ $\triangle 63$	
耕作放棄防止効果	— —	— —	
農業労働環境改善効果	$1,584$ $1,584$	— —	
地籍確定効果	157 157	— —	
景観・環境保全効果	403 403	— —	
国産農産物安定供給効果	714 714	— —	
計	$30,270$ $30,270$	$23,312$ $23,312$	

第8章 他の事業との関係

該当なし

第9章 計画概要図

別紙計画概要図のとおり

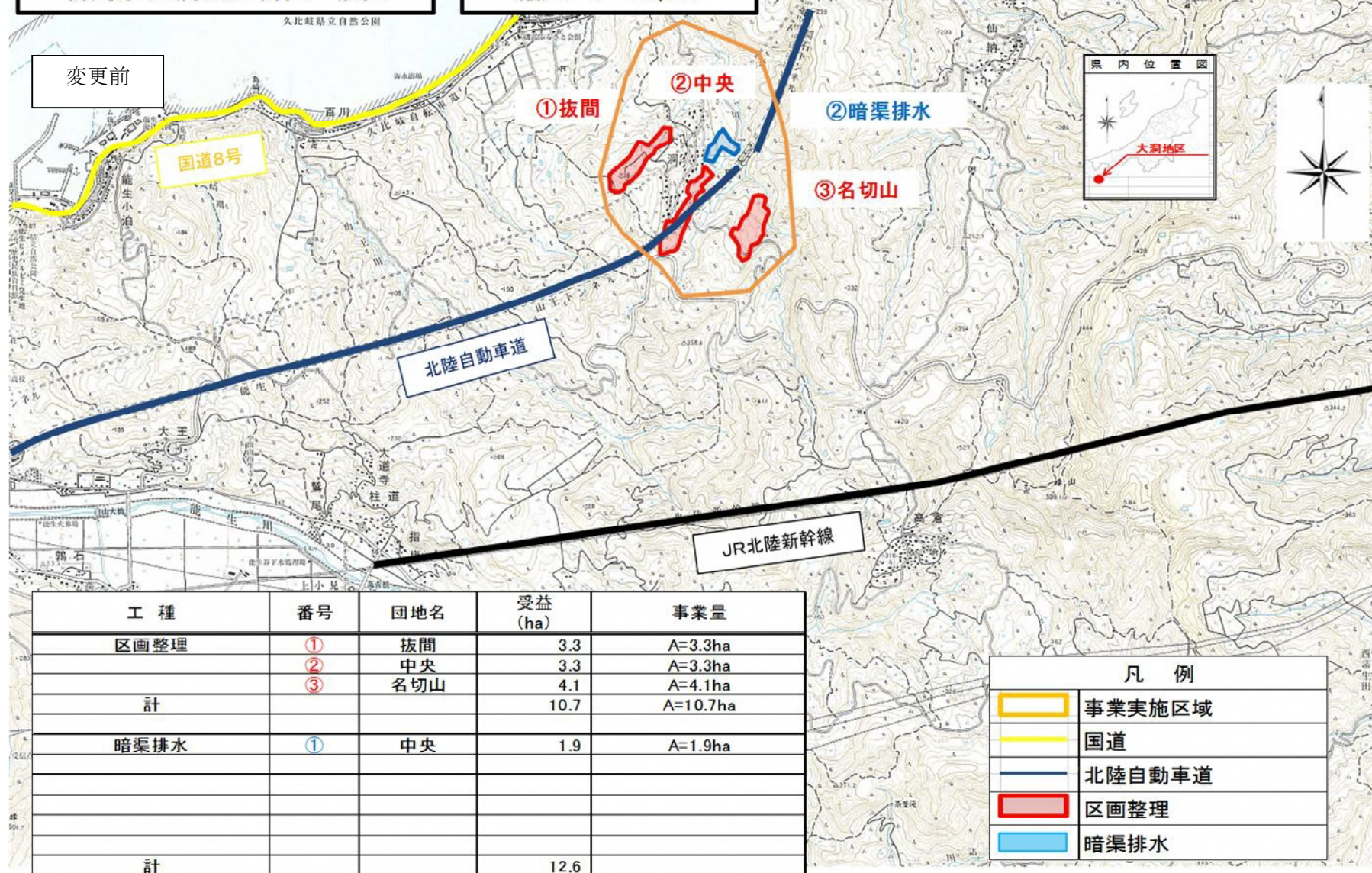
令和3年度補正予算採択

区画整理・農用地改良保全（中山間地域農業農村総合整備）事業

新潟県 大洞地区 計画一般図

縮尺 1:25,000

変更前



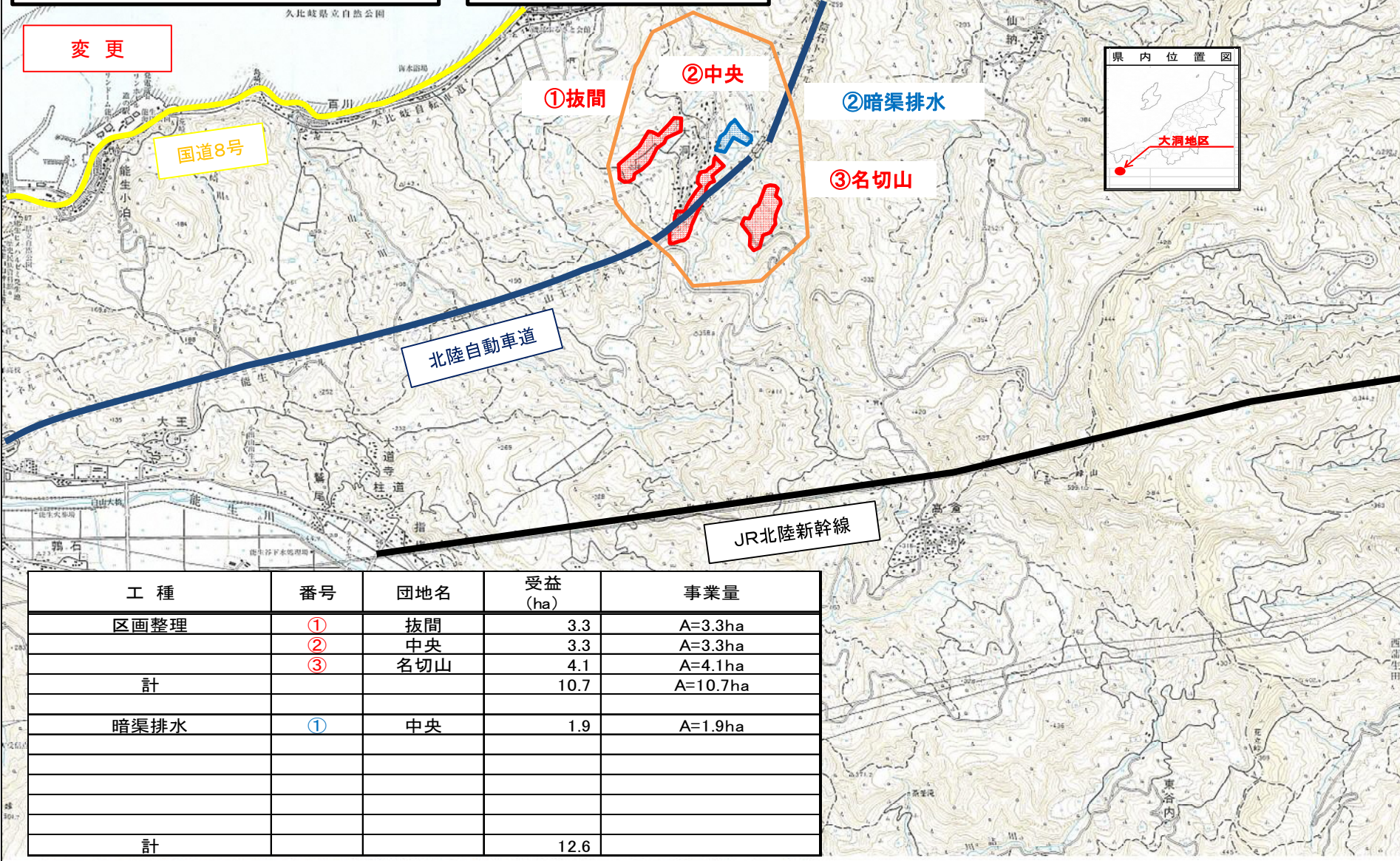
令和3年度補正予算採択

区画整理・農用地改良保全（中山間地域農業農村総合整備）事業

新潟県 大洞地区 計画一般図

縮尺 1:25,000

変更



工 種	番号	団地名	受益 (ha)	事業量
区画整理	①	抜間	3.3	A=3.3ha
	②	中央	3.3	A=3.3ha
	③	名切山	4.1	A=4.1ha
計			10.7	A=10.7ha
暗渠排水	①	中央	1.9	A=1.9ha
計			12.6	